

## メッセージアウトライン

週課	第一年 第八課 第二週
単元	使徒の働き・1
テーマ	御霊に導かれた伝道
タイトル	聖霊にみちびかれて伝道したピリポ
テキスト	使徒8:26～40
参照箇所	イザヤ53章、使徒8:4～25
暗唱聖句	ローマ10:15

導入	いよいよ、イスラエルの国境を越えて、福音が外国に伝えられていきます。聖霊さまはどんな方法で外国にみことばを伝えたのかな？電話したのかな？それとも手紙？
I	<p><b>ピリポは聖霊に導かれて、エチオピヤの宦官に出会いました</b></p> <p>A. 御使いが、サマリヤで伝道していたピリポに、「立って南へ行き、エルサレムからガザに下る道に出なさい。」と言いました</p> <p>B. ピリポがエチオピヤの宦官を見つけると、聖霊さまはピリポに「近寄って、あの馬車といっしょに行きなさい。」と言われました</p> <p>C. 昔のユダヤ人は、外国の人が救われるとは思っていませんでしたが、聖霊さまはピリポを外国人に伝道するように導いたのです</p>
II	<p><b>ピリポは、聖書のみことばから、宦官にイエスさまのことを伝えました</b></p> <p>A. エチオピヤの宦官はイザヤ書を読んでいました</p> <p>B. ピリポは「あなたは、読んでいることが、わかりますか。」と言ったので、宦官は「聖書のことを教えてほしい」とたのみました</p> <p>C. ピリポは聖書のみことばから、イエスさまのことを伝えました</p>
III	<p><b>聖霊さまがピリポを通して働かれ、いよいよ外国人に救いが広がりました</b></p> <p>A. 宦官はイエスさまを信じ、洗礼を受けたいと言ったので、ピリポは宦官にバプテスマを授けました</p> <p>B. 主の霊がピリポを連れ去られ、宦官は喜びながら帰って行きました</p> <p>C. こうして福音は、ユダヤ人だけでなく、外国の人にも広がっていききました</p>
結論	<b>聖霊さまがピリポを導かれ、福音が外国の人にも伝わっていききました</b>
適用	イエスは、あなたにも誰かに福音を伝えて欲しいと願っておられます。ピリポが伝えなかったら、このひとは信じなかったし、外国に福音は広がりませんでした。しかし聖霊がピリポを遣わさなかったら、ピリポはこの外国人に伝道しなかったでしょう。聖霊さまがだれに伝えればいいのか、いつ伝えればいいのか教え導いてくださいます。あなたも、聖霊さまの導きを聞き、従っていきましょう。導かれ方は色々で、祈りの中で示される場合もあれば、困っている人の必要を見せてくださる場合もあります。また、人に伝えるために聖書をよく学んでおきましょう。
備考	

